

会 議 録

会議の名称	平成29年度第3回 病院運営審議会		
開催日時	平成29年(2017年) 10月3日(火) 13時30分 ~ 16時00分		
開催場所	市立豊中病院 講堂(管理棟5階)	公開の可否	可・不可・一部不可
事務局	市立豊中病院 総務企画課	傍聴者数	1人
公開しなかつた理由			
出席者	委員	天野陽子、上西晟子、角本典子、澤村昭彦、多田耕三、浜田恭介、深谷和代、真鍋哲也、山口育子、渡邊太郎	
	事務局	病院事業管理者 小林栄、総長 真下節、病院長 堂野恵三、 副院長 嶺尾郁夫、副院長 東孝次、副院長兼看護部長 藤田幸恵、 医務局長 巽千賀夫、中央診療局長 稲田正己、薬剤部長 村田充弘、 事務局長 小杉洋樹、看護部次長 木本正美、医療安全管理室長 中上紀子、 事務局次長兼総務企画課長 朝倉敏和、医事課長 中村卓、 施設用度課長 津川昌夫、がん相談支援センター長 細貝徳子、 地域医療室長 甲斐智典、栄養管理部長 中井智明、 地域医療室主幹 下雅意陽子、医療安全管理室主幹 杉山真紀、 総務企画課主幹 鷺見一馬、総務企画課主幹 城戸篤、 総務企画課長補佐 入江基宏、医療情報室長補佐 櫻田靖之	
	その他		
議題	(1) 新たな病院運営計画について (2) その他		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

病院運営審議会（審議等の概要）

●委員の出席状況と審議会成立の報告

全委員11人中10人出席、本審議会成立を報告

●傍聴希望申込みの許可

傍聴希望者あり（1名）

●議案審議

- 1) 新たな病院運営計画について
- 2) その他

●審議結果

1. 新たな運営計画（素案）の変更内容について事務局より資料に基づき説明

2. 医療を取り巻く環境変化について事務局より資料に基づき説明

《質疑応答・意見等》

1. 現運営計画の5年間の振り返りとともに、前計画の4つの柱の取組み結果を踏まえて、新たな運営計画の取組み計画を立てる必要がある。
2. 振り返りは、定量化された数値を元に評価する必要があると思う。
3. 第1～3章のそれぞれの章立ては理解できるが、第4章は、より具体的な記載が必要ではないか。

現運営計画の5年間の振り返りは、第4章の冒頭で新たに加筆言及しており、その振り返りを踏まえて取組み計画を策定している。

運営計画は多くの市民の目に触れることを想定している為、コンパクトにまとめるという趣旨でこのようなまとめ方になった。また、新たな計画を策定するに当たり、医療環境が大きく変化している為、具体的な対応策の記述には困難がある。

現運営計画の振り返りについては、平成29年度第1回病院審議会において、実施計画を用いて行った。振り返りについては毎年実施している実施計画の評価を参考にして頂きたい。第4章の冒頭にはその要約を記載している。

一般企業と異なり、医療業界の場合は国が定めた方向性に合わせていくことが経営上の重要課題となる。その為、国が大きく舵を切った場合、その内容に合わせていくことが重要であり、今回の運営計画もその点を言及している。

4. 「医療機能と質の向上」では、日々の実務的な内容として何を実施するのかが不明瞭で、総論はあるが各論がないとの印象である。

具体的な内容は実施計画に記載していく予定である。基本となる運営計画を基に、実施計画で具体化していく。

5. 第4章第1節の4. 「医療の安全・安心の向上」について、今後、特定機能病院だけではなく他の病院についても高い医療安全が求められるようになると感じる。インシデントの報告の見直し、インフォームドコンセントの充実など、具体的な取組みを検討してほしい。

社会・患者層・患者を取り巻く環境が大きく変化している為、変化に応じた安全性が必要であると感じている。また、高齢化に伴い、インフォームドコンセントについては、医療メディエーター（医療対話仲介者）がより現場に入り込んで実施していく必要があると考える。

6. 第3章第4節では薬剤師の連携について一般論が記載されているが、市立豊中病院は何をするのかを示してほしい。例えば、薬薬連携として薬局薬剤師に検査値の公開等を進めている事例も増えており、そのような具体的な取組みを示してほしい。

現在、院外処方箋はFAXを用いて地域の薬局と連携を実施している。今後は、診療情報の提供を薬局と進め、病院内の検査・処方情報の公開を検討する。また、抗がん剤の服薬指導等が外来にシフトしているが、実績件数が少ない為、今後増やしていく。薬局との検査値の共有は、地域医療連携システムの導入タイミングと合わせて検討する必要があると考えているが、薬剤師会と相談して進めていく。

7. 第4章第3節の1. 「患者サービスの向上」では、後払いサービスの導入が記載されているが、未収金問題が深刻化する可能性はないか。

後払いの目的は、会計待ち時間の短縮であり、後から口座等から引落す運用を検討している。具体的には、携帯料金の中で診療費を引き落とすサービスがあることや、専門機器の導入も検討している。「後払い」の表現は誤解を招く可能性がある為、表現を見直す。

8. 患者満足度調査について、以前は2年に1回の実施とされており問題提起したが、今回も毎年実施しないのか。

患者満足度調査については、今年度からは毎年、実施していく。

9. がん診療の充実については、現運営計画でも示されているが、新たな運営計画では内容をより充実させていくということか。また、循環器系の疾患が将来増加していくと記載されているが、循環器系疾患への対応は検討しているのか。

これまでの取組みとしては、緩和ケアは早期の介入を実施し、化学療法・放射線療法は質の高い高度な診療に取り組んでいる。患者・家族への情報提供等の対応の充実も進めており、現運営計画で示した内容はおおむね達成した。当院は、地域がん診療連携拠点病院としてがん診療の中心的役割を担っており、新たな運営計画では、多職種連携・診療科を跨いだチーム医療・情報発信・相談支援を行っていくとしている。

循環器系の疾患については、第4章第1節に言及しているとおり、脳卒中・心疾患などを中心に、集中治療室や脳卒中ケアユニットの強化等を進めていく。

10. 第4章第3節の4「働き方にかかる意識改革」は、第4章第4節「経営基盤の確立」に組み入れないのか。

医療スタッフをいかに確保し、長期的に働くことができるかは非常に重要である。当院は医療スタッフも内部顧客と考え、患者と同様に医療スタッフも大切にしないと組織を維持できないと考えている。そのため、第4章第3節で患者サービスと同じ項目に入れている。

11. 【基本方針】(3)を「医療機関等」に変更したと説明されたが、「医療・介護の関係機関等との連携」と明確に記載してはどうか。市民目線では、医療と介護の連携を重要視している。

医療と介護の連携については、行政も関与する為、慎重に考える必要がある。病院として最も連携が重要になるのは医療であると考えている。

基本方針は総論であり、各論では介護にも言及しており、介護連携を考慮していないわけではない。

12. 薬剤師の役割は理解できたが、人材を確保するのか業務内容を充実していくのかが不明瞭である。看護師では離職率の低減などを記載しているが、薬剤師は業務の増加に伴い職員増加を検討しているのか。

薬剤師は今後服薬指導や適切な医薬品管理等でも重要になると考えている。人員について記載するかについては再度検討する。

P22の表17では薬剤師数は統計値よりも多いが、足りているというわけではない。

当院は職員定数が条例で定められている為、職員の増員が難しく、また、職種によっては募集をしても人が集まりにくい。人材確保の必要性を感じているが、迅速な対応が難しい現状である。

13. 文末に用語集があるが、文中にアスタリスク（*）をつけると親切ではないか。

アスタリスクを追記し、分かりやすくする。

14. 高度で質の高い医療を安全に提供するためには、スタッフの充実が重要であり、優れた医師や看護師、医療スタッフの採用と育成についてももう少し盛り込めないか。また、第3節の3.「職員のモチベーションの向上」に人材育成について記載しているが、第1節の「スタッフの充実」との関係性はどのようになっているのか。

スタッフの充実とモチベーションに関係性はあると考える。モチベーションは働き方改革とも合わせて考え、質の向上を目指していきたい。これらは関係し合っている為、記載場所を検討したが、現在のような表記方法にした。

15. 病床利用率は現在90%であり、前回の95%と比較して減少しているが、病床のあり方についてどのように考えているか。

16. 医療資源投入量別の患者数を見ると、回復期・慢性期患者が一定層いる。一方、運営計画では、今後の方向性として、当院は急性期病院を目指していくと記載されているが、この乖離をどうするのか。

地域医療構想では、豊能二次医療圏の急性期病床は将来も現在と同程度必要であると示されている。当院は急性期病床を減らすことなく、現状のまま維持していく予定である。平均在院日数の短縮とともに病床利用率が減少しているが、2025年に向けて入院患者数は増加する為、これは一時的なものであると考えている。

17. 全国平均と比較してリハビリテーションのセラピストの数が少ないが、回復期の患者に対して十分なリハビリ単位数を確保できているのか。回復期の患者の寝たきりを防ぐため、病院間連携の促進や病床削減も検討するべきではないか。

4. 最後に

本日の意見を事務局で検討し、修正をする。次回その内容を再度審議する。

次回、病院運営審議会の開催は平成29年11月9日（木）を予定。

<以上、終了>